

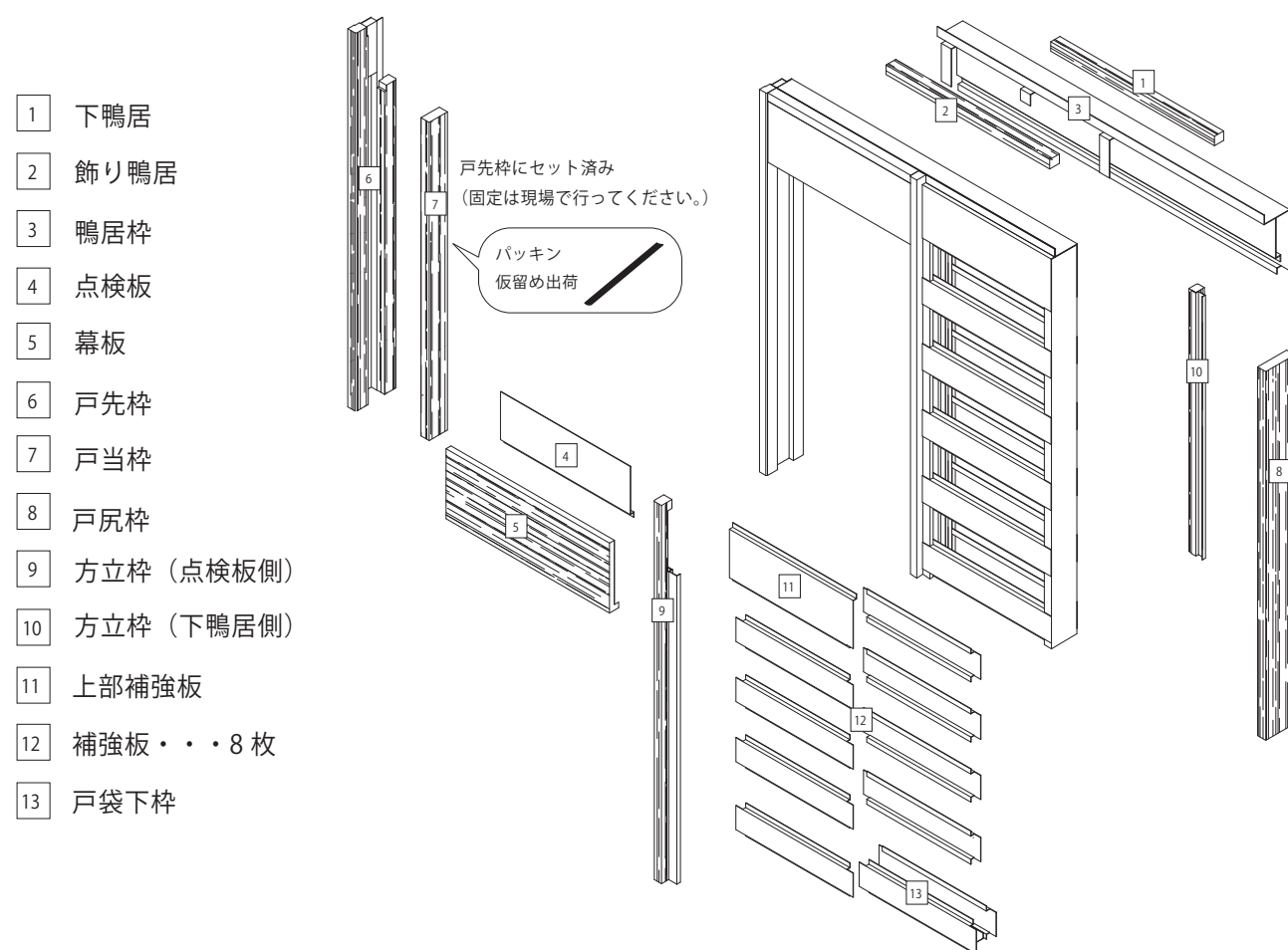
# 木製防火引戸 (片引ポケットタイプ) ≪ 枠施工用 ≫

このたびは、ABE KOGYO製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。

## ⚠ 施工にあたってのご注意

- この施工説明書をよくお読みになり、正しく取付けてください。誤った取付けをしますと、人身事故や家財の損害が発生する恐れがあります。
- 商品に破損や異常がないか、付属品の不足はないかをご確認ください。万一商品に破損や異常があった場合、また付属品の不備があった場合は、販売店または阿部興業株式会社までご連絡ください。
- 照明灯などの熱により、表面化粧が冒される場合があるので、熱源は1m以上離して作業してください。

## 1. 各部品の確認



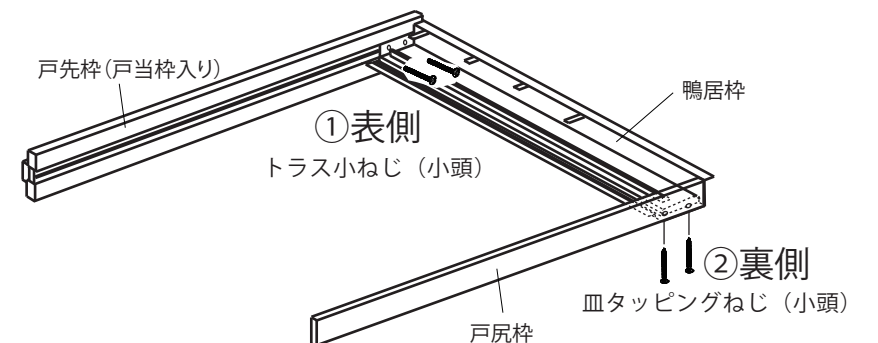
部 品 梱 包				
皿タッピングねじ (小頭) 35 ~ 40 本  M4(D6)×20	皿小ねじ (小頭) 35 ~ 40 本  M4(D6)×8	トラス小ねじ (小頭) 3 本  M5(D8)×12	ドリルねじ (小頭)14 本  M4(D7)×60	戸当りゴム  ※ビス付き

## ■納まり図

別途製作承認図を参照下さい。

## 2. 枠の組立て

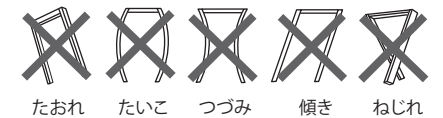
- ①鴨居枠と戸先枠を組み立てます。  
◆トラス小ねじ (小頭)
- ②鴨居枠と戸尻枠を組み立てます。  
◆皿タッピングねじ (小頭)



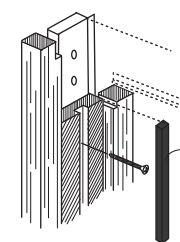
## 3. 躯体への取付け

- ①躯体に枠を取付けます。 ※枠上部は現場に合わせた方法で固定してください。  
ドリルねじ (小頭)

- レーザー下げ振り等を使って水平・垂直・ネジレを調整後、クランプ等で仮固定しておきます。(調整用パッキンは付属しておりません。)

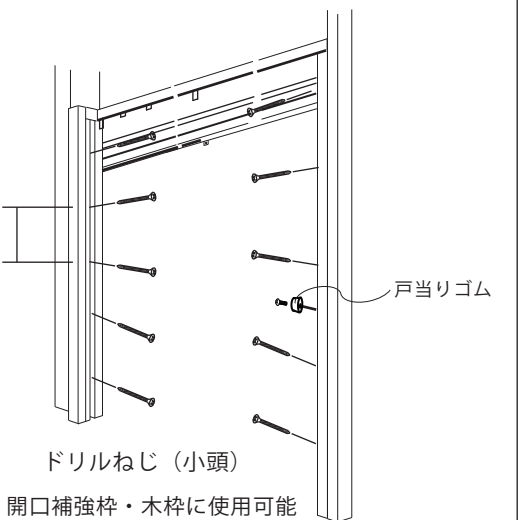


戸当枠の溝よりビス止め



パッキン仮留め出荷  
(若干長くなっております。  
所定の長さにカットしてから裏面テープ貼りをしてください。)

300 ピッチ程度



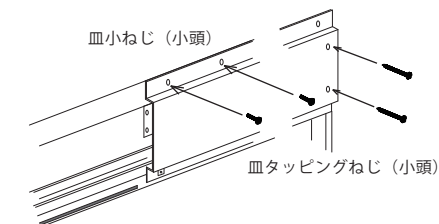
- 戸当りゴムは引手・バーハンドルと同じ高さが目安です。

◎LGS・開口補強枠・木枠に使用可能

## 4. 補強板・部品の取付け

< 上部固定板の取付け >

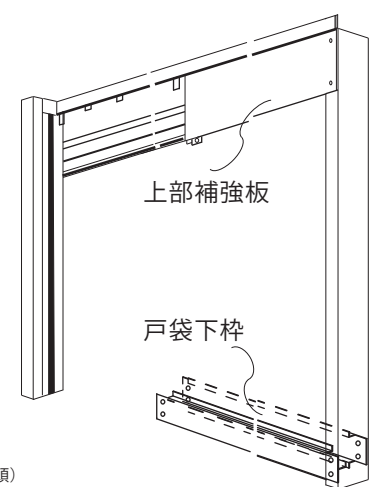
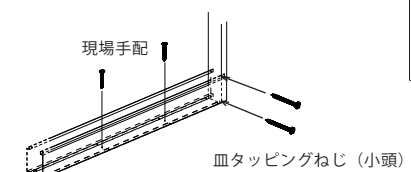
- ◆鴨居枠の固定: 皿小ねじ (小頭)
- ◆方立枠の固定: 皿タッピングねじ (小頭)



< 戸袋下枠の取付け >

- ◆鴨居枠の固定: 皿小ねじ (小頭)
- ◆方立枠の固定: 皿タッピングねじ (小頭)

※下枠固定ビスは付属しておりません。  
現場に合わせて手配してください。



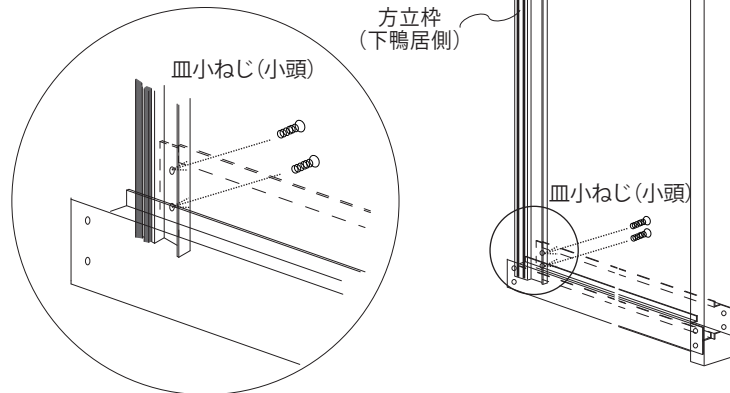
## 4. 補強板・部品の取付け

### <方立枠(下鴨居側)の取付け>

鴨居枠上部にあるスチール部分に方立枠(下鴨居側)を裏側から合わせてビス止めをしてください。

下端は戸袋下枠と固定してください。

#### ◆皿小ねじ(小頭)

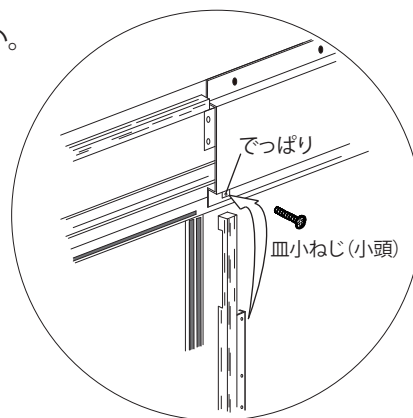


### <方立枠(点検板側)の取付け>

方立枠(点検板側)を上部補強板のでっぱり部分に合わせて固定してください。

下端は戸袋下枠と固定してください。

#### ◆皿小ねじ(小頭)



### <補強板の取付け>

方立枠側→戸尻枠側の順にビス穴に合わせて固定してください。

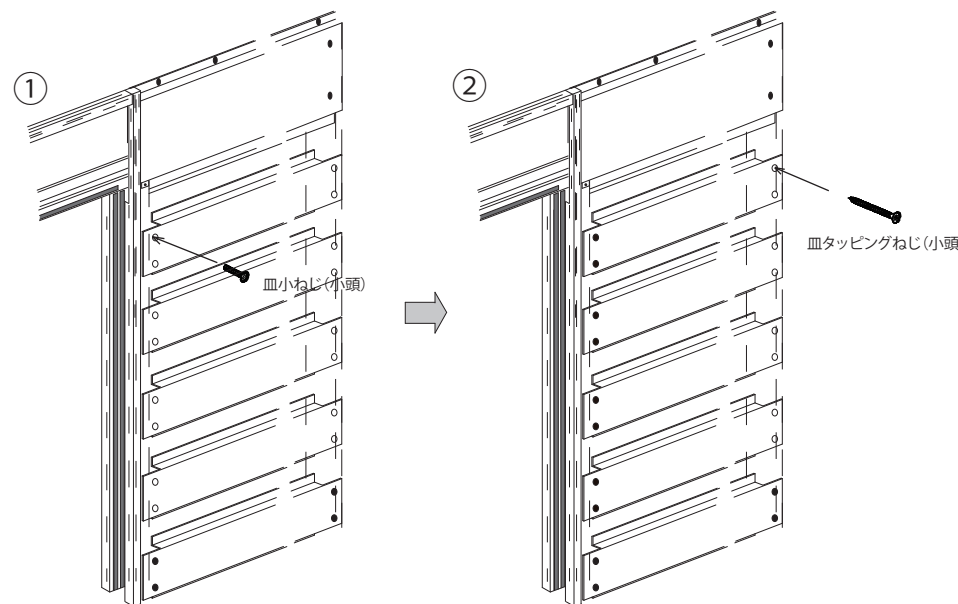
#### ①方立枠側へ取付け

##### ◆皿小ねじ(小頭)

#### ②戸尻枠側へ取付け

##### ◆皿タッピングねじ(小頭)

補強板・・・8枚



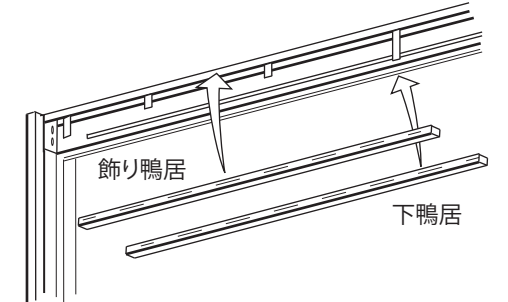
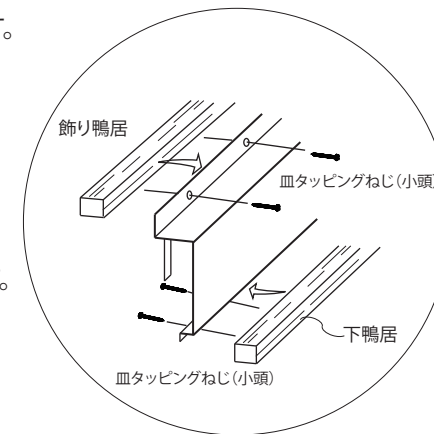
## 4. 補強板・部品の取付け

### <下鴨居の取付け>

- ・鴨居枠下部裏側に取り付けます。
- ・ビスは表側から留めます。
- ◆皿タッピングねじ(小頭)

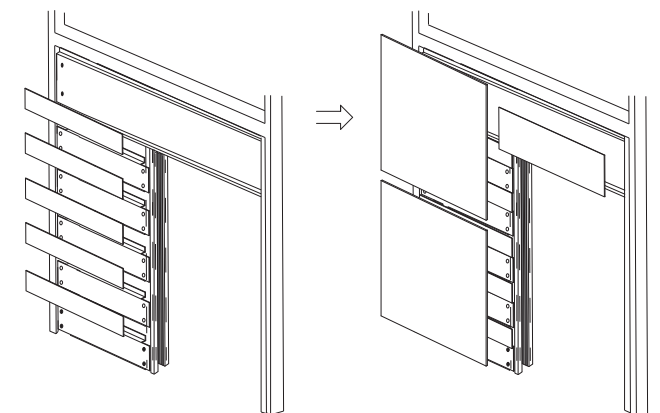
### <飾り鴨居の取付け>

- ・点検板上部表側に取り付けます。
- ・ビスは裏側から留めます。
- ◆皿タッピングねじ(小頭)



### <ボードの取付け>

- ①補強板と補強板の間に、ボード(1重目)を取り付けてください。
- ②ボード(1重目)の上に、ボード(2重目)を取り付けてください。



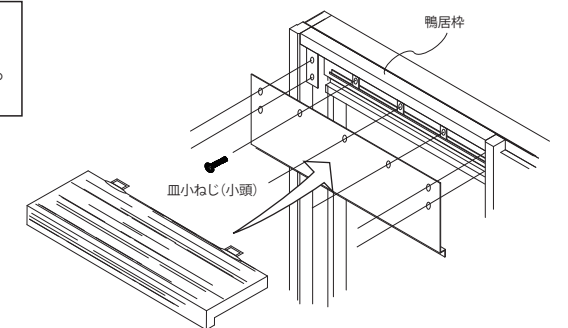
## 《点検板／幕板の取扱い》

### 注意

点検板は扉の吊込み、調整後に取り付けてください。  
扉の施工方法については扉施工用の説明書をご覧ください。

- ①点検板／幕板は、扉を吊り込んだ後に取り付けてください。
- ②点検板／幕板及び関係部品は、扉の吊込みまで紛失しないよう保管または仮取付けしてください。

※幕板は、現場仕様の丁番で飾り鴨居に固定します。



## 施工終了後の確認

施工が完了しましたら、下記の点について確認してください。

- ◆全ての部品が取り付けられているか、また間違った取付けがされていないか確認してください。
- ◆取付けネジが所定の位置に取り付けられているか確認してください。
- ◆ネジのゆるみや枠のガタつきがないか確認してください。
- ◆扉の開閉がスムーズに行えるか、施工上の不具合がないか再度確認してください。

### <お手入れ方法>

- お手入れは、柔らかい布を、水でうすめた中性洗剤に浸し、よく絞ってから汚れを落とし、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。
- シンナーなどの溶剤や強い洗剤を使用しないでください。
- ペンキ・グリース・油・パテなどが付着した場合は、速やかに拭き取ってください。

### <使用上のご注意>

- 扉の近くでストーブなどのご使用はお避けください。  
(扉が反ったり、表面がゆがんだりする原因になります。)
- 扉や枠の清掃には、シンナーなどの薬品を使わないでください。